

あつぎ市議会だより

第211号 発行日/平成24年5月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

2月定例会

平成24年度予算など50議案を可決

予算総額1261億円、一般会計は736億円 一般質問 教育・まちづくりなどを論議

2月定例会は、2月22日から3月16日までの会期24日間で開かれました。市長から初日に提出された議案は、専決処分の承認や不動産の譲与、市道路線の廃止・認定、平成23年度一般会計補正予算のほか、条例の制定・改正・廃止、平成24年度一般会計予算など40議案です。このうち初日に採決し、承認した「専決処分の承認を求めることについて」を除く39議案は、初日・第2日の質疑終了後、それぞれ所管の常任委員会に付託されました。本会議第3日から第5日までの3日間、議員

23人が登壇し、一般質問が行われました。また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された案件に対し、慎重な審査が行われました。最終日、各常任委員長が審査結果報告の後、8会派による討論が行われ、採決の結果、全議案を原案どおり可決しました。

さらに、市長から「副市長の選任について」「監査委員の選任について」など議案6件、議員から「厚木市議会委員会条例の一部を改正する条例について」など議案4件が追加提出され、いずれも同意・可決しました。



夢と希望を胸に正門前で記念撮影をする親子（南毛利小学校）

専決処分

承認した専決処分議案は、一般会計補正予算の1件です。

内容は東日本大震災の被災地への支援に要する経費を補正する必要が生じ、特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなく市長が専決処分したことについて、議会の承認を求められたものです。

不動産の譲与

可決した不動産の譲与議案は1件です。内容は条例廃止後に用途廃止が予定される長沼集落センターを長沼自治会に譲与するものです。

市道の廃止・認定

可決した市道路線の廃止・認定議案は8件です。市道再編成事業に伴い妻田東一丁目地内をはじめ9路線を廃止し、中萩野、下萩野地内の2路線を認定する議案のほか、

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計と6つの特別会計です。

一般会計補正の主な歳出の内容は、193事業について減額するものです。各会計の補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する増減額（カッコ内）は次のとおりです。

- ◇一般会計 784億7925万2千円（13億8322万2千円減）
- ◇公共用地取得事業特別会計 5億3924万1千円（1億5832万5千円増）
- ◇後期高齢者医療事業特別会計 16億1221万5千円（924万9千円増）
- ◇国民健康保険事業特別会計 236億1284万9千円（1億2065万2千円増）
- ◇介護保険事業特別会計 84億8616万8千円（7849万円増）
- ◇交通災害共済事業特別会計 537万1千円（1162万9千円減）
- ◇公共下水道事業特別会計 56億262万1千円（3700万円減）

栄町二丁目や上萩野など7カ所で行われた開発行為に伴い、それぞれ1路線を認定する議案です。

監査委員の選任に同意

監査委員3人のうち、橘川幹男氏（下萩野）の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任したいとの議案が最終日に市長から提出され、賛成全員で同意しました。

人権擁護委員4氏の推薦に同意

人権擁護委員14人のうち4人の任期が満了することに伴い、横浜地方方法務局長から後任委員の推薦依頼を受けた市長から最終日に意見を求められ、次の方々の推薦に賛成全員で同意しました。

- 小澤等氏（三田）
- 安藤勉氏（戸田）
- 中村美恵子氏（七沢）
- 小俣明美氏（温水）

2面下段に続く

主な内容

- ◆一般質問 2～5面
- ◆広報広聴特別委員会 3面
- ◆県に提出した意見書 4面
- ◆委員会の審査 6・7面
- ◆本会議の審議結果 8面



今定例会では、23人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えをたずねました。主な質問と答弁の要旨を紹介し（掲載は質問順）。

小中学校の修学旅行の行き先はどのように決定しているか

あつぎ市民の党 奈良 握議員



問 行き先の決定は、どのようにしているか。

答 教育長 国の通達に基づき学校の創意と教育的識見を十分に生かせるよう配慮し、前年度の修学旅行の反省や学校評議員の意見などを踏まえ、校長が決定している。

教育委員会定例会議題

問 3月11日の東日本

大震災以降、教育委員会定例会の議題として、放射能汚染対策や給食の安全性など、重要なテーマについて議論されていまいが、どう考えているか。

則などに基づき行うよう法令準拠の定めがあり、付議事項なども定めては、規定がなく、教育委員会内部だけの問題でもないことから、厚木市災害対策連絡会などで十分検討し、学校とも連携を図りながら対応してきた。規則などに定めていない事項も、児童・生徒の安心安全に係る重要な案件については、積極的に教育委員会定例会で審議するように検討していく。

厚木パークビル(旧パルコビル) 取得の効果は

改革あつぎ 徳間 和男議員



問 取得の効果は。

答 市長 市が主体的に行動し、交流拠点となる(仮称)あつぎ元気館として取得再生すること、にぎわいと回遊性が高まり、本市の顔にふさわしい中心市街地の形成につなげることができる。

経常収支比率

問 安定化の見通しは。

答 財務部長 社会保障費や医療費関係が年々増える中、人件費、維持管理費などを見直し、削減してきた。第4次厚木市行政改革の中で80%台を堅持したいとする方向性が出され、努力している。

都市構想

問 どう進めているか。

答 市長 東名厚木インターチェンジ周辺地区

改定介護保険法の今までと違う点は何か

日本共産党 釘丸 久子議員



問 改定された介護保険法は、今までとどこが違うのか。

答 市長 24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスや小規模多機能型居宅介護と訪問介護とのサービスを組み合わせ提供する複合型サービスが創設された。

問 要介護者・要支援者の要求にどう応えているか。

答 市長 これまで担当部で研究してきた。2

文科科学省の放射線などに関する副読本の活用は

日本共産党 栗山 香代子議員



問 電力業界につながるの深い団体に副読本の作成を委託するのは、適当でなかったと当時の文部科学大臣が言っている。見直すべきであった副読本で子どもたちに教えることをどう考えているか。

答 教育長 副読本は教科書を補強する意味合いがある。また、教員が何の知識もなく使っているというものではない。

待機児童の解消

問 現状と課題は何か。

答 市長 認可保育所の新設や市独自の認定あつぎ保育室の創設などにより、受け入れ定数の拡大を図ってきた。少子化の推移を踏まえ、既存の施設を活用し、本厚木駅に近接する認定あつぎ保育室2園の増設や、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園の開設などにより、受け入れ児童数の拡大を図り、待機児童の解消に向けて取り組んでいく。

条例の制定

可決した条例の制定議案は2件です。

「厚木市市民参加条例」は、市民が市政に参加できる仕組みを整備し、市民参加によるまちづくりの推進に資するため、制定するものです。

「厚木市墓地等の経営の許可等に関する条例」は、「墓地、埋葬等に関する法律」の一部改正に伴い、墓地の経営許可などについて必要な事項を定めるため、制定するものです。

1面から続く

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は9件です。

「職員の給与を減額し必要な財源の確保に資するための厚木市職員の給与に関する条例等」の主な改正内容は、本市の財政状況などを踏まえ、職員の給与を減額するため、関係条例の一部を改正するものです。

「受益者負担見直しに関する基本方針に基づき公の施設に係る使用料を見直すための厚木市営体育施設条例等」の改正内容は、公の施設に係る使用料の一層の適正化を図るため、関係条例の一部を改正するものです。

「厚木市介護保険条例」の主な改正内容は、介護

保険事業計画の見直しに伴い、介護保険料率を改めるものです。

「厚木市営自転車等駐車場条例」の主な改正内容は、中町2丁目自転車等駐車場を再整備し、自転車専用駐車場とすることに伴い、その名称を改めるものです。

「厚木市立病院の診療費等に関する条例」は、新病院建設に伴い、特別室を廃止するため、改正するものです。

このほか、法律や政令などの一部改正に伴い、「厚木市手数料条例」「厚木市市営住宅条例」「厚木市市営火災予防条例」「厚木市立図書館条例」を改正するものです。

条例の廃止

可決した条例の廃止議案は「厚木市長沼集落センター条例」の1件です。

内容は地域の農業振興と社会活動の推進を図るため設置した長沼集落センターが所期の目的を達成したことから、同センターを廃止するため、条例を廃止するものです。

平成24年度予算

一般会計は736億円で対前年度比6・7%の減額になりました。また、特別会計と公営企業会計を合わせた予算総額は1261億9435万7千円で、平成23年度当初予算と比較して0・9%の

減額になりました(7面参照)。

3月8日の都市経済常任委員会では、(仮称)あつぎ元気館整備事業に議論が集中。一般会計予算所管科目を賛成多数で可決した直後に、委員から付帯決議案が提出され、賛成全員で可決しました(7面参照)。

このほか、愛甲地区で住居表示を実施するに当たり「住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法について」「町の区域の設定及び字の廃止について」の2件が提案されたほか、「土地売買請求事件の調停について」が提案され、可決しました。

議員提出議案

可決した議員提出議案は条例改正など4件です。「厚木市議会委員会条例」は、市の組織改正に伴い、各常任委員会の所管を定めるため、改正するものです。

「厚木市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例」は、委員会の正副委員長の報酬の額に関する規定を廃止するため、改正するものです。このほか、病院特別委員会の名称変更や厚木愛甲地区に特別支援学校分校の設置を求める意見書の提出を求める議案を可決しました(意見書は4面を参照)。

放課後子ども教室を 全小学校に導入する考えは

公明党 遠藤 浩一 議員



問 市内全小学校に導入する考えはあるか。

答 ことも未来部長
各学校での一時的空き教室の関係はあるが、将来的には実施したい。

●選挙の投票率向上
問 期日前投票の宣誓

上依知・猿ヶ島地区の 土地利用計画の検討状況は

市政クラブ 井上 敏夫 議員



問 土地利用計画の検討状況は。

答 市長 平成5年に依知北部地区画整理組合設立準備委員会が組織され、産業系や住居系の土地利用について検討してきたが、土地価格の下落や経済状況などにより事業化には至っていない。現在、さがみ縦貫道路の開通後の社会情勢や企業の動向を視野に入れ、関係者と調整している。

●地域再生計画

問 進捗よく状況は。

答 市長 みどりと清流のふるさと創造基本構想により、自然環境を活用した健康づくり大学、森林セラピーツアーの開催や花の里づくりなど魅力ある事業を進めている。

●緊急改善区域の整備

問 密集住宅市街地における進捗よく状況は。

答 市長 県の調査により寿町一丁目地区など

た、音声コードを付けることは、視覚障がい者の方の利便性の向上につながるもので今後研究したい。

問 期日前投票所を本厚木駅前にも設置できないか。

答 選挙管理委員会事務局長 経費面のほか、選挙運動をしているのみに投票所を設置するのは難しい。

は大きな課題だが、できるだけ実現したい。

●自治体クラウドの導入
問 クラウド導入を研究する考えはあるか。

答 市長 システムを共同利用するための大幅な業務の見直しや、運用形態の複雑化など課題も多い。国や県の動向を注視しながら研究していく。

ふるさと納税制度の 戦略・戦術は

改革あつぎ 高田 浩 議員



問 市外からの寄付を増やす手法として、中心市街地の活性化や福祉、環境、教育、その他用途限定のふるさと納税を導入してはどうか。

答 財務部長 市民協働の観点から設定している基金の活用と併せて、ふるさと納税についても研究していきたい。

問 ふるさと納税をし

外国籍児童・生徒への 教育の現状と課題は

改革あつぎ 松前 進 議員



問 外国籍児童・生徒への教育の現状と課題は。

答 教育長 在籍数の多い小中学校には国際教室を設置している。また、各学校へ日本語指導協力者を派遣するほか、放課後などの時間を活用し補習を行っている学校には支援員を派遣している。

問 放課後の支援体制は今後どうなっていくか。

答 学校教育部長 支

援員を配置する学校を現在の2校から、平成24年度は5校程度に増やすよう取り組んでいる。

問 初期日本語でつまづかないよう、集中的に日本語や日本の文化、習慣を学習できるプレスクールの設置はできないか。

答 学校教育部長 制度として十分整っていないため、支援員などの充実を図った上で必要かど

第9次厚木市総合計画の 実施状況は

改革あつぎ 太田 洋 議員



問 総合計画第1期実施計画の達成状況は。

答 市長 全体の進捗率は約96%を見込んでいます。事業の実施率も約97%となっており、十分に達成できたと受け止めています。

問 第2期実施計画の策定状況と目標は。

答 市長 第1期実施計画の実施状況や施策の達成目標を検証し、基本計画の期間である平成26年度までの施策の目標達成や第2期基本計画への継続性を考慮して、26事業を実施計画として位置付けた。徹底的な行

法を取り入れ、市民の側に立った言葉遣いをすることに組織的に取り組んではどうか。

答 総務部長 今後、具体的な課題について、各職場の取り組みが組織全体で進められるよう努めていく。

問 特に優先して財源を充てる事業は何か。

答 宮台副市長 中心市街地の活性化とその周辺の土地開発、基盤整備や子育て・教育環境日本一を目指す施策の施設整備などがある。優先順位を明確にして第2期実施計画の中で実践していく。

東日本大震災から学んだ 危機管理行政は何か

あつぎみらい 渡辺 貞雄 議員



問 東日本大震災から何を学び、どのように厚木市地域防災計画の修正に反映したか。

答 市長 地震・風水

広報広聴 特別委員会から

2月定例会で多くの議論を呼んだ旧パルコビル取得関連予算。中心市街地活性化のためと説明する市に対し、取得費用や維持管理費などの課題に指摘がありました。付託された常任委員会では、事業執行に当たっての要望を付帯決議の形で表明しましたが、予算編成権がなくとも、質疑や提言を通じ、議会は間接的に予算編成や市の施策に関わっています。さて、こうした議論

- の経過をお伝えする議会報告会が開催間近となりました。厚木市議会初の試みです。奮ってご参加ください。
- ※詳細は8面を参照。
- 広報広聴特別委員会
委員長 石井芳隆
副委員長 釘丸久子
委員 泉 修
名切文梨
難波達哉
遠藤浩一
井上敏夫
松前 進
神子雅人

くことと人づくりだと考えている。市の考えは。

答 協働安全部長 市民がどのように考えているかだと思ふ。市内15地区に出向き、災害に対する市民の不安や心配を今回の厚木市地域防災計画の見直しに反映している。

●風水害対策

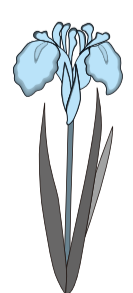
問 土砂災害警戒区域に対する取り組みは。

答 市長 台風や豪雨などにより、土砂災害の恐れがある対象区域の方に警戒避難体制に関する事項を周知している。

6月定例会などの予定

- 6月1日(金) 本会議 (議案等質疑)
- 7日(木) 本会議 (一般質問)
- 8日(金) 本会議 (一般質問)
- 11日(月) 本会議 (一般質問)
- 12日(火) 総務企画常任委員会
- 13日(水) 市民福祉常任委員会
- 14日(木) 環境教育常任委員会
- 15日(金) 都市経済常任委員会
- 22日(金) 本会議 (委員長報告・討論・採決)
厚木市立病院特別委員会
広報広聴特別委員会

※開会は原則として午前9時です。傍聴は本庁舎5階ロビーで受け付けます。



再生可能エネルギーである 小水力発電の導入の考えは

あつぎみらい 越智 一久議員



問 農業用水路などの水の流れを利用した小水力発電を（マイクロ）水力発電を導入する考えは。

答 市長 環境負荷のない自然を利用した有効なエネルギーと捉えている。現在、再生可能エネルギー検討委員会が地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入の在り方を検討している。

問 太陽光発電の取り組み状況は。

答 市長 平成15年度から住宅用太陽光発電の補助制度を導入している。1月までの累計は1268件である。

●不法投棄対策

問 監視カメラの設置状況と今後の対応は。

答 環境みどり部長 河川沿いや山間部などの不法投棄の多発箇所には17基設置し、大きな効果をもたらしている。今後は、定期的なパトロールにより内容を把握した上で適宜状況に合わせた対応を取っていく。

電力自由化に基づき PPSにどう対応するか

みんなの党 井上 武議員



問 市役所で使用する電力のPPS（特定規模電気事業者）への対応は。

答 市長 電気料金削減にはPPSの導入も有用であると認識しており、本格的導入に向けた検討を行っている。

問 太陽光発電などの導入の取り組みは。

答 市長 地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入の在り方について検討を進めている。また、メガソーラーの誘致などを進めていく。

●市民協働への意識改革

問 職員の市民協働に対する意識改革の方策は。

答 地域力創造担当

厚木市学力学習状況調査の 今後の取り組みは

あつぎみらい 難波 達哉議員



問 この調査にどのような取り組みか。

答 学校教育部長 全国学力学習状況調査は、平成24年度は抽出方式で行い、平成25年度は悉皆方式になるという話を聞くが、国の動向が定まっていなため、本市独自に調査を行っていく。

問 調査結果を公表し

ながら十分な配

女性の視点からの 防災対策の考えは

公明党 田上 祥子議員



問 防災会議へ保健師、看護師などの専門職の登用を含めた女性委員を増やす考えはあるか。

答 協働安全部長 前向きに検討していきたい。

問 女性のための防災

究し、増員していきたい。

パンフレットを作成する考えはあるか。

答 協働安全部長 前向きに検討していきたい。

●女性消防団

問 防災の専門的知識を持ち、障がい者の方

な

慮をするよう報告があるため、慎重に対応したい。

●鷲尾地区の獣被害対策

問 平成23年2月定例会の一般質問の答弁で、鷲尾群の獣対策として獣害防護柵設置を示されたが、今後の課題は。

答 市長 地元は全頭捕獲の要望が強い。奥山を持たないので防護柵で囲うと猿の対応に苦慮する。平成24・25年度は強い追い払いと追い上げを実施し、効果を見て防護柵設置を検討する。

厚木愛甲地区に特別支援学校 分教室の設置を求める意見書

公立の特別支援学校に通う児童・生徒は、この10年間で3万人以上も増加し、今後は全国的に教室不足が深刻化すると予想される。

また、特別支援学校高等部の選抜方法は、重度障害を持つ生徒が優先されるため、軽度・中度障害を持つ生徒は募集人数の余り枠の中での抽選となり、必ずしも高等部に入学できるとは限らない。

さらに、高等部は自力通学となることから、通学が困難な生徒には保護者の付き添いや送迎が必要であり、本人が元気で保護者の病気時や急用時には、欠席しなければならない場合がある。

厚木愛甲地区に特別支援学校分教室が設置されれば、徒歩やバスで自力通学ができる地区内生徒がふえ、保護者の負担も軽減される。

よって、県においては、厚木愛甲地区に特別支援学校分教室を設置されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年3月16日

提出先＝神奈川県知事

●認定こども園

問 保育機能と幼児教育の両面を持つ認定こども園について、一層の周知を図ることができないか。

答 消防長 今後、女性消防団員の意見を聞きながら、防災介助士を含

障がい児の通所支援の 今後の取り組みは

神奈川ネット 内川 由喜子議員



問 就学児の児童デイサービスが放課後等デイサービスに移行すると聞くが、現在、地域生活支援事業として行っている日中一時支援についてはどのように考えているか。

答 福祉部長 児童福祉法の制度に基づく放課後等デイサービスへの移行に合わせて送迎加算が付けられることになると

ため、できれば移行していきたい。

●スクールソーシャルワーカーの活用

問 不登校、いじめ、

た児童・生徒への支援を

答 こども未来部長 新しい事業であることから、保育所入所の案内と合わせたパンフレットの配布や入所決定通知を出

す際に紹介している。今後も周知に努めていく。

厚木パークビル購入後の 活用内容と改修費は

公明党 寺岡 まゆみ議員



問 ビルに入れる公共施設の考え方は。また、内装や空調などの改修費は。

答 市街地活性化担当部長 施設の再構築に係る事業の集約化や適正配置を行い、利便性の高い施設利用を図る。改修費の想定は約26億円である。

問 市民要望がある映画館を再開する見通しは。

答 市街地活性化担当部長 新しい機械に入れ替えないと難しいと感じる。今後、別の用途としての検討も重ねていく。

●小中学校普通教室の冷暖房設備設置事業

問 財政や環境への負

方向性を夏前に出したい。

問 公立保育所民営化のメリットと方向性は。

答 政策部長 延長保育など柔軟な保育に対応できると考えており、保育所在り方等検討委員会

で公立保育所の在り方の

方向性を夏前に出したい。



さまざまな場面で活躍が期待される女性消防団

市民の期待に応える 市民農園の今後の計画は

あつぎみらい 沼田 幸一 議員



問 今後の計画は。

答 病院事業局長

市長 4月から新たに1カ所36区画を開設する。農作業を通して憩いと安らぎの場を提供できるように拡充に努める。

問 新たな大型市民農園事業の内容は。

答 産業振興部長

大型市民農園を観光資源として捉え、広く市外の方々に厚木市で農作業を楽しみ、宿泊施設や商業施設を活用していただける仕組みを研究する。

●厚木市立病院

問 中心市街地に診療所が集まっているが、病診連携をどう進めるか。

問 防災教育をどのように展開するのか。

答 教育長

各学校の防災対応マニュアルでは、災害時の引き渡しなど、実態に応じた実効性のある内容に改定し、児童・生徒が自ら主体的な判断や対応ができるよう、防災教育の充実を図る。

少子化対策として 婚活パーティーとの連携は

みんなの党 泉 修 議員



問 厚木市商工会連合会の街づくり推進プロジェクトチームが実施する婚活パーティーの街コンに対し、市として連携した取り組みや周知の支援ができないか。

問 活用する考えは。

答 政策部長

市民と双方で情報が共有できる有効なメディアと認識している。ソーシャルメディアとしての優位性を見いだしながら、活用に向けて取り組んでいく。

●医療クラウド

問 利用者の健康情報を電子化して一元的に管理し、さらなる医療サービスの向上や個人の健康管理への貢献を目指す

問 活用する考えは。

答 政策部長

市民と双方で情報が共有できる有効なメディアと認識している。ソーシャルメディアとしての優位性を見いだしながら、活用に向けて取り組んでいく。

●フェイスマスク

問 活用する考えは。

答 政策部長

市民と双方で情報が共有できる有効なメディアと認識している。ソーシャルメディアとしての優位性を見いだしながら、活用に向けて取り組んでいく。

放射能汚染に関する 保育士への研修の考えは

民主クラブ 名切 文梨 議員



問 保育所の子どもの尿からセシウムが検出された事実があり、放射性物質を体内に取り込むとおもろしをしやすい。子どもが心身ともに傷を負わないよう、保育士に正しい知識を習得させる研修を実施してはどうか。

答 ことども未来部長

機会あるごとに研修会に参加し、保育士間で情報の共有を図っていききたい。

●給食用食材

問 保育所では給食用食材の放射能検査を一度もしておらず、品目や産地の選定もしていない。安全性に配慮できないか。

答 ことども未来部長

教育委員会が購入する機器を使い、週2回の検査を実施する。4月以降は保育所でも機器を購入し、食の安全に努めていく。

●修学旅行

問 修学旅行の行き先の選定は学校長の権限だが、除染状況重点調査地域としている所を選定する

問 スマートインターチェンジ

スマートインターチェンジ

問 建設の状況は。

答 市長

さがみ縦貫道路開通に伴う高規格道路における重大事故や大規模災害に対処する機能向上のため、平成25年度末の竣工を目標に進める。

問 平成23・24年度の継続事業を1年間延長した理由は。

答 消防長

関口・山際地区市街化調整区域のまちづくりの整備に進展があったことから、消防・防災体制や依知地区のまちづくりについて、あらかじめ総合的に判断し計画を変更した。

●スマートインターチェンジ

問 スマートインターチェンジ

問 建設の状況は。

答 市長

さがみ縦貫道路開通に伴う高規格道路における重大事故や大規模災害に対処する機能向上のため、平成25年度末の竣工を目標に進める。

問 平成23・24年度の継続事業を1年間延長した理由は。

答 消防長

関口・山際地区市街化調整区域のまちづくりの整備に進展があったことから、消防・防災体制や依知地区のまちづくりについて、あらかじめ総合的に判断し計画を変更した。

問 スマートインターチェンジ

スマートインターチェンジ

問 建設の状況は。

平成25年3月までの開通を目指して整備が進む「さがみ縦貫道路（厚木区間）」（座架依橋から山際方面を望む）

より一層充実させていきたい。

虐待、暴力や非行など、学齢期のこどもの問題解決など、最終的に行き先を決める学校長に判断材料を示していく。

チェンジへのアクセス時間の短縮や周辺道路の渋滞緩和の効果が、高速度道路へのアクセス性の改善による利用圏域の活動の優位性が図られる。

●歴史文化の展示公開

問 歴史文化を展示公開する施設の建設計画は。

答 教育長（仮称）

収蔵資料館建設事業として、中央青年の家跡地の測量調査を実施し、新たな郷土文化の情報発信拠点の建設を目指す。

●厚木パークビル

問 厚木パークビルを中心とした再開発の考えは。

答 市長

ビルを取得し、子どもから高齢者までが交流できる拠点を整備する。中町第2・2地区周辺整備事業や本厚木駅南口地区市街地再開発事業を連鎖的に展開し、相乗効果によって元気なまちづくりを進めていく。

●ノリタケ跡地

問 ノリタケ跡地に進出する店舗の見通しは。

答 市長

現在、一部北側では遊技場施設の建設が進められており、南側は物販関係の企業から進出を検討できるか。

●関口・山際地区の開発

問 進出の相談を受けている。

答 市長

土地利用推進地区の約22分の都市基盤整備の在り方などについて、地権者で構成する山際地区まちづくり研究会で検討を進めている。

●厚木市立病院

問 特徴ある特化した病院にするための考えは。

答 市長

地域医療の中核を担う病院として、ICU、CCUをはじめとする二・五次救急医療、地域医療支援病院や地域がん診療連携拠点病院を目指している。

厚木パークビルを 中心とした再開発の考えは

あつぎみらい 松田 則康 議員



問 厚木パークビルを中心とした再開発の考えは。

答 市長

ビルを取得し、子どもから高齢者までが交流できる拠点を整備する。中町第2・2地区周辺整備事業や本厚木駅南口地区市街地再開発事業を連鎖的に展開し、相乗効果によって元気なまちづくりを進めていく。

●ノリタケ跡地

問 ノリタケ跡地に進出する店舗の見通しは。

問 進出の相談を受けている。

答 市長

現在、一部北側では遊技場施設の建設が進められており、南側は物販関係の企業から進出を検討できるか。

●関口・山際地区の開発

問 進出の相談を受けている。

答 市長

土地利用推進地区の約22分の都市基盤整備の在り方などについて、地権者で構成する山際地区まちづくり研究会で検討を進めている。

●厚木市立病院

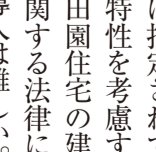
問 特徴ある特化した病院にするための考えは。

答 市長

地域医療の中核を担う病院として、ICU、CCUをはじめとする二・五次救急医療、地域医療支援病院や地域がん診療連携拠点病院を目指している。

●健康・交流のみちづくりの
荻野川の整備状況は

改革あつぎ 松本 樹影 議員



問 健康・交流のみちづくりにおける、荻野川の整備状況と課題は。

答 市長

本市は首都圏整備法による近郊整備地帯で、さらに全域が都市計画区域に指定されている。地域特性を考慮すると、優良田園住宅の建設の促進に関する法律による制度の導入は難しい。

●市街化調整区域での産業誘導の検討

問 区域内でも物流施設や農産物の加工施設は立地可能と聞くが、ほかにも可能なものはあるか。

答 まちづくり計画部長

野菜栽培工場や研究開発施設など、要件に該当すれば立地可能となる。

●市街化調整区域での優良田園住宅の促進

問 優良田園住宅の促進

委員会の審査 1

条例・補正予算など ——主な質疑と答弁——

条例の制定・改正、平成23年度補正予算などの議案について、各常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○厚木市市民参加条例について

問 市民参加にはさまざまな形があつていいと思うが、仕組みをつくらなければならないのか。

答 本条例は実施機関が行う政策などの企画立案の経過の中で、市民の方に意見を頂かなければならない旨を規定したものである。

問 第4条「市民の責務」に「自らの発言と行動に責任を持って市民参加するよう努める」と規定されている。これでは、市民が参加しにくくなるのではないのか。

答 市民参加の手法に市民会議の設置がある。一定の期間で合意形成を目指し、厚木市にとって最良の結論を提言書としてまとめていただくようになるので、自覚を持って会議に臨んでいただければとの期待を込めたものである。

市民福祉

○平成23年度厚木市一般会計補正予算(第10号) 所管科目

問 児童用自転車ヘルメット購入助成事業について、助成制度をどのように周知してきたか。

答 平成23年度は未就学児にも枠を拡大したため、新1年生と未就学児に対して助成制度の案内を個別に郵送した。また、小学校、PTA、自治会や子ども会の会合に出向いて助成制度の周知を行ってきた。

問 事業所内保育施設設置補助事業について、平成23年度は申請がなかったというが、今後、事業内容を見直していく考えはないか。

答 本市の財政状況が厳しい中、市民サービスが低下しないよう財源に充てることを明確にするとともに、毎年検証しながら、当分の間、実施していくという趣旨で付けている。

環境教育

○平成23年度厚木市一般会計補正予算(第10号) 所管科目

問 中学校校舎体育館改修事業の内容は。

答 睦合東中学校の東棟校舎1階から4階までの生徒用トイレの改修であり、床・壁などをドレイ式にすることや便器の交換などを行う。また、3階にみんなのトイレを設置し、1階・2階・4階には準みんなのトイレを設置する。

○受益者負担見直しに関する基本方針に基づき公の施設に係る使用料を見直すための厚木市営体育施設条例等の一部を改正する条例について

問 市外の方は約2倍の使用料となるが、その根拠は。

答 施設の建設時には市税などを充てているので、市外の方は負担していないことになる。また、市外の利用者が増えている状況であり、市民が優先されるべきとの声も頂いている。近隣市でも、



自転車に乗る子どもたちをけがなどから守るヘルメットの着用が進む

病院特別委員会

2月定例会終了後、厚木市立病院の整備・運営に関する調査研究特別委員会が開かれ、執行機関から、病院建設に係る今後のスケジュールのほか、工事期間中の駐車場減少に伴う公共交通機関の利用の呼び掛けおよび駐車場の暫定的有料化について説明がありました。説明後の委員の主な質疑と執行機関の答弁を紹介します。

問 工事に先立って2月下旬から実施した土壌汚染状況調査の結果は。

答 全体の20%の調査だが、問題はなかった。廃棄物処理が適正に行われてきた結果だと考えている。

問 工事における市内業者の活用について、どのように考えているか。

答 医療行為を継続しながらの現地建て替えであり、免震工事を含めて技術的に難易度の高い工事となる。このことやコスト削減、市内業者の活用を総合的に勘案し、工種分けなども視野に入れながら十分に検討する。検討組織を設け、業者選定の基準を作りたい。

問 30分まで駐車無料だが、以降、外来患者や見舞いなどの料金設定がある。外来で来たことの確認方法は。

答 他の病院と同様、診察券での確認を考えている。

※議員提出議案第3号が可決され、4月1日から特別委員会の名称が「厚木市立病院特別委員会」となりました。

都市経済

○住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法について

問 地元の見集約は十分にできたのか。

答 平成16年に愛甲原自治会から愛甲原住宅団地の住居表示の意向があり、自治会と協議を進める中で愛甲地区全体の要望となった。その後、基礎調査や自治会などと再度協議を行う中で平成20年に自治会の承認を得たが、事業者からは商品表示などに経費が掛かることから反対があり、先送りとなった経過がある。その後、自治会長と市長とのまちづくりフリー

市内と市外の利用者に使用料の差を設けていることもあり、本市も差を設けた。

○平成23年度厚木市一般会計補正予算(第10号) 所管科目

問 中心市街地交通環境整備事業は、なぜ実施を見送ったのか。

答 全国的に歩道を走行する自転車と歩行者の事故が増加している現状を踏まえ、警察庁が法規

運用の見直しを行っているが、いまだ方針が示されていないためである。

問 篠谷上古沢線道路改良事業に繰越明許費が設定されている。用地交渉がうまくいかず繰り越したと思うが、新斎場の供用に影響はないか。

答 路線の中間部分に当たる三島神社周辺の用地確保が平成23年度末までには難しい状況にある。改修できていない箇所は、新斎場の供用開始までに現況の道路にすり付けし、通行に支障がないようにする。

委員会の視察と友好都市の訪問

市議会では、特別委員会が行政視察を行ったほか、友好都市の北海道網走市と秋田県横手市に訪問団を派遣し友好交流を図りました。視察などの主な内容は次のとおりです。

◆厚木市立病院の整備・運営に関する調査研究特別委員会

2月1日・2日、病院の運営および院内施設について(熊本県熊本市立熊本市市民病院)



◆厚木市議会網走市訪問団

2月9日～11日、網走市議会議長表敬訪問(副議長が対応)、網走市長表敬訪問など。

◆厚木市議会横手市訪問団

2月15日・16日、横手市議会議長表敬訪問、議会運営の視察など。



完成が期待される新斎場周辺の道路(下古沢)

委員会の審査

新年度予算関係

—主な質疑と答弁—

一般会計、特別会計など、平成24年度予算の議案について、各常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○一般会計予算(所管科目)

問 財政が厳しい中、厚木市は地方交付税の不交付団体として頑張っていることを市民に周知してはどうか。

答 不交付団体であるからこそ、扶助費や医療費など多くの分野で市の単独費により、標準的なサービスを上回るサービスができていられることをお知らせしていければと考えている。

問 (仮称)地域ふれあい都市宣言推進事業の内容は。

答 地域フォーラムを予定している。そのほか、地域の市民活動団体の代表者に地域ふれあい都市宣言推進協議会に入っていただき、平成24年度は、啓発事業を中心に取り組み、平成25年度以降に内容を検討していく。

問 消防庁舎整備事業費の内容は。

答 東日本大震災では1日8時間だが、市で補助制度を設けるに当たって1日9時間、年間230日以上を保育をお願いする予定である。土・日曜日については開設しなくても補助の対象になるが、ニーズがあることから、できる限り開設日を増やしてもらおうよう調整していきたい。

問 見守りシステム構築事業費の設置状況と使用実績は。

答 中心市街地25カ所に24時間監視のカメラを58台設置している。平成20年3月27日の供用開始以降、厚木警察署に78件の画像提供を行ってきた。

○介護保険事業特別会計

問 平成24年度介護保険法改正の影響は。

答 予算編成の時点では、介護報酬などが明らかにされていなかったため、4月からの新しいサービスはこの予算には反映されていない。新しいサービスを提供する事業者が出て、そのサービスが利用されるようであれば、保険給付費の中で調整していきたい。

市民福祉

○一般会計予算(所管科目)

問 DV対策事業費の使い道は。

答 被害者の安全確保のため、緊急的に一時保護する場合は保護施設への移送旅費、自立支援にむけて関係機関との調整を図るための旅費、消耗品の購入費などである。

問 認定子ども園推進事業費について、保育所などでは延長保育は通常午後7時までだが、認定子ども園でも同様の対応ができるのか。土・日曜日の対応はどうか。

答 県の認定基準では1日8時間だが、市で補助制度を設けるに当たって1日9時間、年間230日以上を保育をお願いする予定である。土・日曜日については開設しなくても補助の対象になるが、ニーズがあることから、できる限り開設日を増やしてもらおうよう調整していきたい。

環境教育

○一般会計予算(所管科目)

問 温暖化防止推進事業費は、平成23年度当初の予算と比べると減っているが、拡充できているのか。

答 平成23年度は住宅用太陽光発電、高効率給湯器、雨水貯留槽、電気自動車補助を行ってきた。平成24年度は、このうち高効率給湯器と雨水貯留槽は一定の成果が出たため終了し、それに代わり、新たに家庭用蓄電池の補助を実施する。太陽光発電は年間400件程度、蓄電池は初めての導入であることから30件程度を予定している。

「議案第33号 平成24年度厚木市一般会計予算所管科目」に対する附帯決議

議案第33号平成24年度厚木市一般会計予算には、(仮称)あつぎ元気館整備事業費が計上されている。

厚木パークビル(旧パルコビル)の取得については、本会議及び都市経済常任委員会において、財政難の中、民間ビルの取得は本来回避すべきであることや中心市街地整備の全体像が明確でないことなどの意見があり、それらを踏まえ慎重に審議等を行ったが、議会及び市民に対し、その取得について明快な説明は十分に果たされているとは思えないものであった。

よって、(仮称)あつぎ元気館整備事業に当たっては、市政運営に多大なる影響を及ぼさないように、以下の各項目について早期の対応をされるよう強く求める。

- 1 厚木パークビルの活用にあたっては、中町第2-2地区周辺整備事業との整合性を図り、中心市街地のより一層の活性化を図るため、市民、議会及び商店会等とも密に協議するとともに、多様な意見を採り入れるよう努めること。
- 2 改修費や維持管理費などを総点検し、経費の縮減等を行い、後年度において過度の財政的な負担とならないよう努めること。
- 3 今後の経済状況を十分勘案した上で、他事業や市民生活に影響がないよう事業内容を慎重に検討すること。また、事業展開における進捗状況を議会及び市民にできる限り明らかにし、事業の執行に係る説明責任を果たすよう努めること。

以上、附帯決議とする。

※都市経済常任委員会において提出者・太田委員と賛成者5人(栗山委員、奈良委員、渡辺委員、松田委員、川口委員)の連名で高田委員長に「附帯決議案」が提出され、賛成全員で可決した。

都市経済

○一般会計予算(所管科目)

問 小田急多摩線の延伸についての考えは。

答 相模原市、愛川町、清川村と厚木市で多摩線延伸促進に関する連絡会

を設置している。その中で、整備の意義や必要性、整備ルート・輸送需要の予測や事業採算性などの分析を行っている。

問 厚木パークビルの活用方法は。

答 子どもから高齢者まで全ての世代が交流できる市民交流施設を目的としている。その中で、文化芸術、生涯学習関係のものを導入する。公共施設の集約化、適正配置を考え、利便性のある施設にするとともに、商業施設の誘致も進めていきたい。

会議録の閲覧を!

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録ができるまでの間は、インターネット議会中継(録画放映)もご覧になれます。



平成24年度会計別予算

(単位:千円)

| 会計区分 | 平成24年度当初予算 | 平成23年度当初予算 | 比較増減 | 対前年度比(%) |
|-----------|-------------|-------------|------------|----------|
| 一般会計 | 73,600,000 | 78,920,000 | △5,320,000 | 93.3 |
| 特別会計 | | | | |
| 公共用地取得事業 | 371,618 | 380,916 | △9,298 | 97.6 |
| 後期高齢者医療事業 | 1,921,000 | 1,603,000 | 318,000 | 119.8 |
| 国民健康保険事業 | 24,390,000 | 23,491,000 | 899,000 | 103.8 |
| 介護保険事業 | 9,169,000 | 8,408,000 | 761,000 | 109.1 |
| 交通災害共済事業 | 1,500 | 17,000 | △15,500 | 8.8 |
| 公共下水道事業 | 5,842,000 | 5,640,000 | 202,000 | 103.6 |
| 計 | 41,695,118 | 39,539,916 | 2,155,202 | 105.5 |
| 公営企業会計 | | | | |
| 病院事業 | 10,899,239 | 8,864,754 | 2,034,485 | 123.0 |
| 合計 | 126,194,357 | 127,324,670 | △1,130,313 | 99.1 |

※交通災害共済事業は平成24年度で終了となります。
※病院事業会計は支出予定額です。

本会議の審議結果

Table with columns: 番号, 2月定例会提出案件, 各会派の賛否 (改革, みらい, 公明党, 共産党, 市政ク, 民主ク, みんな, 市民, ネット), 議決結果. Rows include various resolutions and motions.

○「陳情第1号 知的障害者が安心して安全に暮らせる社会の実現を求める意見書を国に提出することを求める陳情」は、所管の委員会での審査の結果が「趣旨採択」であったことから、趣旨採択することについて本会議で採決した結果を掲載しています。

※議長…小島一郎、副議長…川口仁
※会派表記、正式名称、議員数、所属議員 (____は代表者)
改革…改革あつぎ(7): 石井芳隆、松本樹影、松前進、高田浩、小島一郎、太田洋、徳間和男 みらい…あつぎみらい(7): 松田則康、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、難波達哉、越智一久、神子雅人、沼田幸一

開催迫る 議会報告会
5月13日(日)午後1時30分～3時 厚木市荻野運動公園 1階会議室
5月18日(金)午後7時30分～9時 厚木市文化会館 4階集会室
【内容】
◆議会報告(2日間とも同じ内容を予定しています)
(1) 2月定例会の概要
(2) 市政トピックス (新斎場について、厚木市立病院について)
◆意見交換
※申し込みは不要です。直接会場にお越しください。
主催：厚木市議会 問い合わせ：議会事務局 ☎225局2701